

第20回 日野市保育の質ガイドライン策定委員会 —要点録—

1 日時場所等

- (1) 日 時 令和8年5月12日（火）午後2時00分～午後4時00分
- (2) 場 所 日野市子ども包括支援センターみらいく連携活動室
- (3) 出席委員 井口眞美委員長、野原久代副委員長、石川星子副委員長、
井上美香委員、児玉真理委員、荒川公重委員、木暮博委員
- (4) 欠席委員 なし
- (5) 事務局 子ども部保育課 堀口尚孝、森航太、小野早苗、筒井敬子

2 要点録

(1) 開会

(2) 前回の振り返り

- ・第19回策定委員会では、日野市保育の質ガイドライン策定委員会の新旧委員がそろっての開催。
- ・旧委員には第1版の策定にあたり多大なご尽力を賜り、令和7年の3月に日野市保育手帳—日野市保育の質ガイドライン（第1版）—を策定した。新委員にはこれから第2版の策定にあたりご協力をいただきたく、委嘱状の交付などを行った。
- ・新旧委員の紹介、挨拶をしたのち、委員長・副委員長の選任として、委員長には実践女子大学の井口委員に、副委員長に日野保育園の野原委員と日野市立第七幼稚園の石川委員を推薦し、全委員に承諾いただいた。
- ・日野市保育の質ガイドラインの趣旨説明とこれまでの経緯について事務局より説明し、第2版策定に向けての意識合わせを行った。
- ・第1版の策定によるガイドラインの活用事例などについてアンケート調査を行った結果の報告や委員から実際にどうやって活用したかの発表などを通して、本ガイドラインをどのように活用していくかの参考となるアイデアを頂戴した。
- ・令和8年度の策定委員会やワーキンググループなどのスケジュールをお示した。
- ・前回の策定委員会で出た意見として、ワーキンググループの開催時間を14時～16時ではなく、15時～17時にした方が幼稚園の先生が参加しやすいとのことだったので、開催時間を15時～17時で行うよう検討している。それに伴い、9月、11月、1月の策定委員会の開始時間も15時からとさせていただきます。

(3) 原稿依頼テンプレート確認

【事務局より】

- ・第2版の策定にあたり、新しく認証保育所や認可外保育施設、幼稚園から事例を提出していただくための、保育の好事例の原稿依頼テンプレートを3パターン作成した。（別紙【資料1 事例テンプレート】参照。）
- ・第2版は、3つのテンプレートの中から1つを選んで記載していただく。

- ・第1版では、細かい部分での統一は求めずに依頼したが、校正の段階での細かい部分の調整等に多くの時間を割いてしまったことを踏まえ、「記載の際の留意点」を示して各園に依頼する。
- ・キーワードについて、第1版では策定委員会で検討いただいたが、今回は各施設にて記載いただく。

【意見交換（主な意見）】

- ・イラストの挿入については、フリー素材「いらすとや」で検索、もしくは、留意点に URL を載せる。
- ・名札や背景の名前についてもモザイクをかけるなどするように
- ・#についての注意書きも入れる。（タイトルの言葉をそのまま使うのではなく…など）

（４）新規原稿依頼施設確認及び依頼内容整理

【事務局より】

- ・新規原稿依頼の項目は別紙「資料2 日野市保育の質ガイドライン（第2版）新規事例一覧」を参照。
- ・そのほか、施設概要の紹介として、各施設の PR というのではなく、「公立幼稚園とは」「民間幼稚園とは」「認証保育園とは」という内容で、3園に依頼をするのはどうかという提案を頂いている。
- ・依頼内容が策定委員会で承認されたのち、5月15日に各園へ事例概要の提出依頼を行う予定。事例のタイトルと概要を先ずはお知らせいただき、事務局で他の施設との重複がないかチェックし、調整したうえで、原稿の寄稿依頼を行う。
- ・事例の提出が難しいという場合には、理由を伺い、事務局にてやむを得ないと判断した場合のみ「承諾」とさせていただきます。

【意見交換（主な意見）】

- ・各施設の紹介という趣旨であれば、公立保育所、民間保育所、小規模保育事業所の紹介も入れた方がよいのではないかと。また、施設概要ということであれば、事務局で紹介ページの差し込みが出来るかと思う。施設概要を記載する予定だった施設には、好事例の原稿依頼をする。
- ・公立幼稚園小学校との接続については、学童との交流をしていないとのことなので学校との交流のみでよい。
- ・五領域についての記載は、計画などの振り返りなどの作業やプロセスなどでも構わないし、保育の実践報告でもよいと思う。
- ・施設概要については、事務局で記載。

（５）第2版策定スケジュール確認

【事務局より】

- ・別紙「資料3 日野市保育の質ガイドライン（第2版）策定スケジュール」確認。
- ・9月18日、11月24日、1月26日は策定委員会とワーキンググループの同日開催となっており、事務局は両方に分かれて出席する予定。

【意見交換（主な意見）】

- ・上田せせらぎ子ども園と変更になったので保育園名についての対応を保育園と確認する。（その旨を伝える）※今後も増えてくる可能性もあるので表記について考えていく。

(6) 策定委員会の進め方について

【事務局より】

- ・今後の策定委員会の進め方や役割について委員の皆様と検討、共有したいと考えている。
- ・スケジュールで示した通り、8月の策定委員会では新規原稿の確認、校正などが主になる。確認する事例数もかなり多いので、そこはそれで手一杯になってしまうかと考えている。
- ・それ以降の策定委員会は、ワーキンググループとの同日開催となる。ワーキンググループのメンバーにはワークや意見交換を行ってもらうが、策定委員会ではそれとは別にガイドライン本体の構成等を検討していただくようになる。
- ・そこで、第2版の策定に向けたこの策定委員会の進め方として、どのように検討していくか意見交換をさせていただきたい。
- ・例えば、ガイドラインの第4章「日野市が目指す保育」について、今の保育のトレンドとなるキーワード（子ども主体の保育とかウェルビーイングとか）を入れたりしてもう少し内容を膨らませるなどの検討をするのはどうかなど、今後の策定委員会の進め方について意見を頂戴したい。
- ・他にも、第5章「ガイドラインの使い方」など、どのようにこのガイドラインを使っていくと良いというような内容を追加修正するなどの検討を行うとか、そのようなご意見をお聞かせいただけたらと思っている。

【意見交換（主な意見）】

- ・性的虐待 不適切から虐待 子どもの環境を守るとは？ということについて再度確認して、みんなで守っているということを確認できる内容に変更
- イラスト変更 子どもを保育園を守る、支える。地域社会とのつながり。
- ・地域の子育て施設とのつながりが持てるとよい。
 - ・#が活かされていない。ページが探しにくい。
 - ・リンクしてクリックで開くことができるといい。
 - ・プリントできるようになるといい。※今は、ホームページからできる。

(7) ワーキンググループについて

【事務局より】

- ・ワーキンググループの委員選出状況について、別紙「資料4 令和8年度ワーキンググループ（専門部会）メンバー選出表」を確認。
- ・総勢70名の参加を予定している。
- ・ワーキンググループについては、1グループ当たり8～9名で、全8グループでワークを行う。第1回目のワーキンググループでは、各グループにて自己紹介や園紹介などのアイスブレイクタイムを設ける予定。
- ・新規事例数は、43事例となり、第1回は1事例、2回目、3回目は2事例のブラッシュアップを行う予定。ワーク時間は、概ね1事例につき30分ほどで設定する。
- ・今年度はワークを行いつつ、施設間交流にも重点を置いたものとしたい。
- ・策定委員会の委員については、ワーキンググループには属さず、第2版の改定事項の検討やワーキ

ンググループでブラッシュアップされた事例の確認作業を行っていただく予定。

【意見交換（主な意見）】

- ・ わらべ豊田駅前南口については、事例を出してもらおう。
- ・ アイスブレイクのテーマとして日野・多摩平幼稚園の木育について発表してもらってはどうか？
→短時間で発表してもらいその後各グループで話し合ってもらおう（アイスブレイク）
第2回、3回もそんな時間が取れるとよいと思う。（対象園については、今後検討）

（8）次回策定委員会について

- ・ 第21回策定委員会は8月25日（火）14時～16時 みらいく1階連携活動室で開催予定。
- ・ 議題（予定）は、新規原稿確認及びワーキンググループについて等。

（9）閉会

以上